

うみ そこ
海の底のタイムカプセル

ちんぼつせん ごう お
～沈没船プロヴィデンス号のナゾを追え！

みなさんが思（おも）いうかべる「遺跡（いせき）」は、陸（りく）の上（うえ）にあるものかもしれません。でも実（じつ）は、青（あお）い海（うみ）の底（そこ）にもたくさんの遺跡（いせき）が眠（ねむ）っているんです。

今回（こんかい）のお話（はなし）は「水中考古学（すいちゅうこうがく）」。スキューバダイビングで海底（かいてい）に深（ふか）く潜（もぐ）り、沈没船（ちんぼつせん）や歴史（れきし）の痕跡（こんせき）を調査（ちょうさ）する、まるで冒険（ぼうけん）のような研究分野（けんきゅうぶんや）で、私（わたし）が追（お）いかけている沈没船（ちんぼつせん）のストーリーを紹介（しょうかい）します。

今（いま）から約230年前、イギリス海軍（かいぐん）の船（ふね）「プロヴィデンス号」が宮古島（みやこじま）の沖（おき）に沈（しず）みました。海底（かいてい）でみつかった……

さて、このつづきを知（し）りたい人は、“kid's考古学くらぶ”に遊（あそ）びにきてください。きっとワクワクするようなお話（はなし）がきけますよ♪

Zoomによるオンライン談話会

日時：7月12日（日）10時～11時

参加者：小学生

参加費：無料 ※「きくだけ参加」は中高生も可

おはなししてくれる先生

なかにし ゆみこ
中西 裕見子 先生

かんさいがいこくごいがく じゅんきょうじゅ
関西外国語大学 准教授



大阪（おおさか）生まれの大阪育（そだ）ち。小学生のころは得意（とくい）な英語（えいご）を使（つか）う仕事（しごと）をした（し）いたいと思（おも）っていましたが、高校（こうこう）のころから英語（えいご）より世界史（せかいし）のほうが楽（たの）しくなりました。17歳でイギリスに英語（えいご）を勉強（べんきょう）しに行（い）った時（とき）に訪（おとず）れた大英博物館（だいえいはくぶつかん）に感動（かんどう）し、ミイラの筆箱（ふでばこ）を3つも買（か）いました！イギリスの大学（だいがく）・大学院（だいがくいん）で考古学（こうこがく）を学（まな）び、28歳で帰国（きこく）。その後（ご）、地元（じもと）大阪で、考古学（こうこがく）の専門職員（せんもんしょくいん）の仕事（しごと）につきました。発掘調査（はくくつちょうさ）やそれにかかわる書類手続（しよるいてつづき）をはじめ、出土（しゅつど）した土器（どき）や瓦（かわら）などの整理（せいり）や管理（かんり）、博物館（はくぶつかん）の学芸員（がくげいいん）など、いろいろな仕事（しごと）を担当（たんとう）しました。現在（げんざい）は、関西外国語大学で考古学（こうこがく）と文化人類学（ぶんかじんるいがく）を教（おし）えています。

【お申込み】～7/9（木）23時までにメールまたは電話で連絡してください!!

kid's考古学研究所 メール info@kids-kouko.com

TEL. 090-3706-2606